

4月8日にリニア中央新幹線山口トンネルで崩落事故があり、5月28日に鉄道・運輸機構が調査の結果を発表しました。

6月29日に坂本満氏(技術士・応用理学部門)を招いて交流会を開催しました。

その後、7月5日と8月20に岐阜県環境影響評価審査会地盤委員会が開催されました。



4月8日、鉄道・運輸機構発表の陥没現場写真

しかし、JR東海からは明確な資料の提示はなく曖昧なまま工事の再開に向かっていきます。

今回も講師をお願いする坂本満氏は南木曾町議会議員を務められており、中央アルプストンネルの山口工区から岐阜・長野県境を超えて掘り進む計画であり、そこには南木曾町の水道水源があり、水枯れの可能性が大きいといわれており大変心配されています。

坂本氏は2回の「岐阜県環境影響評価審査会地盤委員会」を傍聴されました。

さらに今回は日本地質学会名誉会員の松島信幸氏にも講師をお願いしました。松島氏は長野県内で教師を務められる傍ら、南アルプスを長年にわたり調査活動を展開され、それまで謎であった地質を解明されました。

活動は南アルプスに限らず、阿寺断層調査活動にも参加されています。また数々の地質図なども発表されています。

松島氏は活断層である阿寺断層にトンネルを掘ることは無謀な行為であると断言されています。地震が起これば、どのように強固なトンネルでもひとたまりもなく崩壊するであろうと警鐘を鳴らされています。

日時：9月22日(日) 14時～

会場：山口公民館 (☎0573-75-2126)

講師：松島信幸氏(日本地質学会名誉会員)

講師：坂本 満氏(技術士・応用理学部門)

主催：リニアを考える岐阜県民ネットワーク
(代表：庄司善哉)

連絡先：原重雄(☎090-2688-4399)

